

# 第六十五回 帝國議會 貴族院 原蠶種管理法案特別委員會議事速記錄第二號

昭和九年三月十日(土曜日)午前十時九分

開會

○委員長(侯爵大隈信當君) ソレデハ是ヨリ原蠶種管理法案ノ特別委員會ヲ開キマス、昨日ニ續キマシテ御質疑ガアリマスレバドウゾ……、今日ハ丁度大臣モオ出デニナリマスノデ大臣ニ對スル御質疑ガアリマシタラバ……大臣ハ今日ハ靖國神社ノ御祭禮ニ御參列ニナリマス爲ニ、四十分位デ御引上げニナラナケレバナラヌ様子デアリマスカラ、ドウゾドナタカラデモ……

○男爵岩村一木君 私ハ昨日ノ委員會ニハ據ロナメ所用ガゴザイマシテ、武井委員ノ質疑ノ最中ニ中座イタシマシタノデ、速記○男爵岩村一木君 私ハ昨日ノ委員會ニハ據ロナメ所用ガゴザイマシテ、武井委員ノ質疑ノ最中ニ中座イタシマシタノデ、速記

イカトスウ云フヤウナコトヲ申ス者モアリマスデゴザイマス、極端ニ言フ者ハ本法ト云フモノハ事業不振デアル所ノ蠶種販賣業者、即チ種屋ノ一部分ノ者ノ救濟法デハナカラウカトマデ言テ居ルヤウナコトモ耳ニ致シマス、尤モ昨日配付ヲ受ケマシタ本法提案ノ理由ノ中ニモ、製絲業ノ統制ト相俟テ、蠶種製造業者ノ統制ヲ圖シテコソ、蠶絲業全般ノ統制ヲ爲シ得ルノデアル、之ガ爲委シテ置キマスト畢竟ハ自滅スルダラウ、サウ云フコトヲ憂慮シタ爲ニ此案ヲ出シタ云フヤウナ風ニ私ハ伺ヒマシタノデアリマスケレド、此日本ノ蠶種ガ近年著シイ改

良進歩發達ヲ致シマシタコトハ、是ハ民間業者ノ多大ナ努力ト資本ノ提供ニ依リマシ

テ出來タ結果デアルモノデアリマスカラシテ、ソレガ爲ニ本法ノヤウナモノモ亦提案

サレタノデアラウト私ハ思ハルノデアリマスガ、民業者ノ力ト云フモノハ是亦捨難

イモノデアルト思ツテ居リマス、堅貴ナル蠶種業者ノ中ニハ本案ノヤウナモノハ却テ無

用デアツテ、民間業者ニ委セテ置イテ、主務

省デ適當ノ監督ヲ爲ス位ノ程度ガ我國ノ蠶種業、延イテハ生絲界ノ好轉ヲ來シハシナ

リマスガ、此蠶ト云フモノハ貿易上又農業方面ニモ重要ナ位置ヲ占メテ居リマスノデ、

出来ナイ今日ニ原原種ノミノ管理ヲスルト

依ッタノデハナイカト思ハレル節ガゴザイ

マスガ、要スルニ生産過剩ニ依ルモノト思

テハシマイカ、元來過大ナ國家ノ保護トカ、

述ベマシタ人造絹絲ノ侵蝕ト云フモノガ

ル發達ヲ阻害スル例ガ少クアリマセヌノ

デ、例ヘバ我國ノ產業組合ハ多大ナ保護助

成ヲ加ヘラレテ居リマスガ爲ニ、外國トノ

例ニ比シテ著シク其完全ナル發展ガ出來ナ

イ幾多ノ弊害ガ伴ツテ居ルヤウナ有様デア

セウカ、農林省ノ方トシテハ海外ニ宣傳サ

レルト云フコトモ能ク承ツテ居リマスル

ガ、政府ノ餘リ熱ノナイ宣傳ヨリモ、民

間業者ノ眞ニ迫ル宣傳ノ方ガ有效デハ

シテヘドウ云フ政府ノ方デ御考ガゴザイマ

セウカトマデ言ツテ居ルヤウナコトモ耳ニ

致シタコト思ヒマス、昨日政府次官ノ御説

明ノ折ニ蠶種ニ付テ此儘民間ニ無統制ノ儘

委シテ置キマスト畢竟ハ自滅スルダラウ、

サウ云フコトヲ憂慮シタ爲ニ此案ヲ出シタ

ト云フヤウナ風ニ私ハ伺ヒマシタノデアリ

マスケレド、此日本ノ蠶種ガ近年著シイ改

ク承知シテ居リマスガ、マダ蠶種ノ統制ガ

滯貨處分ノ時機トカ方法ガ悪カツタノニモ

需要先キニ適當ノ人ヲ置イテ、其他、其時、

又將來ノ其土地ノ嗜好ニ應ズル絲ノ太サトカ、其絲ノ細サトカ、即チ纖度ノ如何ト云  
モノヲ豫想シテ、ソレニ適應スル原蠶種ヲ製造シテ、即チ機敏ナ仕事ヲシテ居リマ  
スノデゴザイマスガ、勿論此豫想ト云フモ  
ノガ外レマシタナラバ、其當業者ガ個人デ  
アレバ個人ノ利害ニ關係ガアル、法人ナラ  
バ法人ノ利害ニ關係ガアルト云フコトデア  
リマスカラシテ、其豫想ト云フモノハ大體  
ニ於テ誤リガ少イ、斯ウ云フヤウニ蠶種製  
造業者ハ目マグルシイ程度ニマデ機敏ニ  
ヤッテ居ル狀態デアリマスルガ、本法ニ依リ  
マストスウ云フヤウナコトハ、蠶品種審査  
會ノ議ヲ經テ農林大臣ガ之ヲ決定スルトス  
ウ云フコトニナツテ居リマスカラ、ナカノ  
役所ノ方ノ仕事ト云フモノハ、早ク機敏ニ  
運ブト云フコトガナイヤウナコトガ普通デ  
アルヤウニ思ヒマスノデ、管理トナリマシ  
タ曉ニ、從來民間ノヤッテ居タ機敏ノ運用ガ  
取レナクナリマスレバ、ソレガ爲ニ折角長  
年民間業者ガ開拓イタシマシタ需要ト云フ  
モノハ、減ジテ來ルヤウニナリハシナイ  
カ、我國ノ原原種約六百種ト承ツテ居リマ  
スガ、ソレヲ十數種ニナサレルト云フ御意  
御嫌ヒノ農林省ガ統制ヲ爲サルト云フコト

モ、先程申上ダマシタコンナ道具立バカリ  
ガ出来テモ、此際需要ガ減ルト云フヤウナ  
コトニナリハシマイカ、斯ウ云フコトガ私  
ハ縣念サレルノデアリマスガ、政府ニ於テ  
斯様ナコトハナイト云フコトニ基イテ、本  
案ガ御出来ニナシタトハ思ヒマスルケレ  
ドモ、何カ是等ニ對シテモ御考ガ御アリナラ  
戴キマンタ原蠶種處理計畫概要ト云フモノ  
デ、原原種ノ品種ハ蠶品種審査會ノ議ヲ經  
テ農林大臣ガ決定スルト云フモノ  
居リマスルガ、蠶品種審査會ト云フモノ  
ハ、政府ノ人、廣ク言ヘバ、役人ダケデ組  
織サレルノデアリマセウカ、之ニ民間ノ人  
モ加ヘラレルヤウナ御意向デアリマスル  
カ、ソレヲ承リタイ、是ハ原原種ノ決定ト  
云フモノハ一蛾育ニ依ルモノト思フノデア  
リマスカラ、其委員ノ人ノ考ヘ如何ニ依ッテ  
誠ニ其蛾ノ選定トカ、或ハ其時勢ニ順應シ  
タ品種ヲ定メルト云フコトガ大切デアリマ  
スルカラシテ、其點ハ特ニ御伺フ申上ダタ  
イト思ヒマス、又蠶種製造業者ハ農林大臣  
ノ許可ヲ受ケテ、國ヨリ直接原原種ノ配付  
ヲ受ケ、自家用原種ノ製造ヲナシ得ルコ  
ト、及ビ農林大臣ハ原種製造者ニ對シ、原

ノ統制上必要ナル命令ヲ發スル、斯ウ云  
フコトニ要項ニハ出テ居リマスガ、原蠶種  
製造業者ハ農林大臣ノ許可ヲ受ケテ原原種  
ノ配付ヲ受ケル、自家用原種ノ製造ガ出來ル  
ト云フコトハ、ソコニ許可ノ時ニ、或時ハ情  
實ナント云フヤウナコトガ生ジハシナイデ  
アリマセウカ、ソレガ爲ニハ農林大臣ハ  
原種製造者ニ對シ、蠶種ノ統制上命令ヲ發  
シ得ルト云フコトニハナツテ居リマスガ、此  
點ハドウ云フコトニナツテ居リマセウカ、之  
ヲ伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラ又少シ惡  
イヤウニ解釋イタシマスガ、需要ニ即スル  
品種、例ヘバ絲ノ量ノ多イモノトカ、太イ  
モノトカ、細イモノトカ、強イモノトカ、  
要スルニ纖度ノ如何、サウ云フヤウナ良イ  
品種ヲ民間側ガ持ツテ居リマシテ、而モ是ガ  
民間ニ於テ祕密ニ原原種ヲヤツテ居リマス  
ヤウナ場合ニ、先程ノヤウナ許可ヲ受ケマ  
シテ、政府カラ配付ヲ受ケタ品種ト、掃立  
ニ於テ掃立テタモノト摺り換ヘルヤウナ、  
サウ云フヤウナコトガ若シアッタ場合ニ、其  
ヲ徹底的ニ、嚴重ニナシテ戴クヤウナ確信  
ガナケレバ、不結果ニ終ルコトハ明カデア  
ラウト思フノデゴザイマス、ソレデ嚴重ナ

リマセヌノデアリマスルカラシテ、若シカ  
假ニ嚴重ノ取締ガ出來ナイノデアルナラバ、  
現在ノ儘ノ民業者ニ任セテ、此法ノ施行ガ、  
其方ガ宜シクハナイカト思ハレルノデアリ  
マスガ、此點ニ付キマシテモ運用上ニハ色  
色施行規則等モ出來テ萬遺憾ナイトハ思ヒ  
マスガ、ソレ等ノ點ニ付テモ御考ヲ願ヒタ  
イト思ヒマス、ソレカラ最後ニ是ハ經常豫  
算ヲ拜見シテ見マシテ、毎年約五十萬圓程  
度、五年後ニハ完全ニ國家ノ管理ノ手ニ移  
ル、國家ノ管理ノ手ニ移ルト云フコトニナ  
リマスガ、僅カ五十萬圓デアリマスルカラ  
シテ、ソンナコトモナイトハ思ヒマスガ、  
此中ニハ現在ノ原原種製造業者ニ對シマシ  
テ管理ニ移ス爲ニ幾分ナリトモ補償ヲナサ  
ルヤウナコトハ、是カラ出サナクテモ、農  
林省ノ何カ外ノモノカラデモ、捻出ナサル  
ヤウナコトハ萬ナイトハ思ヒマスケレドモ、  
此事ダケ、是ダケノコトヲ念ノ爲ニ伺ツテ置  
キタイト思ヒマス、私ノ質問ハ是ダケニ致  
シテ置キマス

申上ゲル方ガ便利カト思ヒマス、最初ニ御述ベニナリマシタ數點ハ、原蠶種ノ國家管理ヲスルト云フコトニ對シチ擧ゲラレル疑問ノ要點ニ御觸レニナツテ居ル事柄ダト思ヒマス、原蠶種國家管理ノ制度ヲ立テナケレバナラヌト云フコトハ、モウ御承知ノ通り餘程以前カラ唱ヘラレテ居ツタ議論デアリマシテ、當業者ノ間ニモ容易ニ意見ノ一致ヲ見ナカツタ事柄デアリマシタ、最近ニ至リマシテ關係當業者モ略ボ意見ノ一致ヲ見マシテ、政府ガ此度提出イタシマシタ案ニ近イ所ニ大勢ガ歸結ヲ致シタヤウナ譯デアリマス、一部ニハ尙ホ色ミ反対意見ヲ持ッテ居ル者モアルデハアラウトハ思ヒマスケレドモ、御話ノ第一ノ蠶種ノ統一、品質ノ良シイ蠶種ノ普及ト云フコトハ、國家ガ原原種製造ヲヤツテ、原蠶種ノ管理ヲ行ッテ行クト云フヤウナコトニ依ラズトモ、民間ノ當業者ノ勉強ニ依ッテ、段々今日我國ノ品種モ進歩シテ來タノデアルカラシテ、ソレノ方ガ寧ロ蠶品種ノ優良ナモノガ全國的ニ普及シ、全般的ナ品質ノ向上ニナルノデハナイ今日デモサウ云フ意見ハアルコトト存ジマス、唯實際ノ狀況ヲ見マスルト云フト、政

付ヲ今日モ致シテズット參ッテ居ルノデアリマス、此政府ノ手ニ依ッテ出來マシタ所謂國蠶ノ原種ト云フモノハ非常ナ進歩ヲ實ハリマシテ、當業者ガ自己ノ優良品種デアルシテ出シテ居ルモノノ中ニモ、殆ド政府ノ試驗場ノ手ニ依ッテ出來タ原原種ヲ本ニシクモノガ可ナリ今日多イヤウナ状況デアルノデアリマス、政府トシマシテハ今日ノ斯ウ云フ育生學的大、學問的及實地的ナ仕事ハ、矢張リ極ク優秀ナ高級ナ技術者ヲ備ヘテヤル所ニ於テ、初メテ此非常ニ立派ナモノガ出來ルノデアリマシテ、是迄ノ色々育生ノ仕方トカ何トカ云フコトニ依ッテヤルト云フ以上ニ、今日ノモウ科學的ノ進歩ハ、優秀ナ技術者ヲ集メタ政府ノ機關デヤルコトニ依ッテ、民間ノ仕事ニ劣ラナイ、或ハソレニ優ルモノヲ實現シ得ルト云フコトノ自信ガ、多年ノ經驗ニ依ッテ十分ニ今日ニ出來テ居リマスシ、又世ノ中ニ於テモ云フモノノ普及ハ著シイノデアリマス、ソレゾレ相當ナ秩序ト統制トヲ圖ツテ行クコトガ、我國ノ蠶種業ノ地歩ヲ堅實ニスル爲ニ、ヤウナコトガ必要デアラウト云フシタ譯デアリマス、デ殊ニ我國ノ蠶種業ガ今日ノヤウナ情況ニ立至ツテ居リマスルノデ、蠶種業ノ全體ノ階段ヲ通ジマシテ、ソレアリマセヌ、從テ我ミトシテ販賣統制ニノデアリマス、是ハモウ今更ラ申上ゲルマデキアリマセヌ、從テ我ミトシテ販賣統制ニ

テ居リマシテ、蠶業試驗場カラ原原種ノ配付ヲ出シタト云フヤウナ譯デアリマス、此良品種デアルシテ居ルモノノ中ニモ、一面ニハ養蠶家ニモ色ミ不便ヤ誤解、違作致シテ居リマシテ、民間ノ當業者ガ自己ノ優良品種デアルトシテ出シテ居ルモノノ中ニモ、等ヲ生ズルコトモアリマス、一部ノ優良等ヲ生ズルコトモアリマスモノガ、相當ニ況デアルノデアリマス、政府トシマシテハ今日ノ斯ウ云フ育生學的大、學問的及實地的ナ仕事ハ、矢張リ極ク優秀ナ高級ナ技術者ヲ備ヘテヤル所ニ於テ、初メテ此非常ニ立派ナモノガ出來ルノデアリマシテ、是迄ノ色々育生ノ仕方トカ何トカ云フコトニ依ッテヤルト云フ以上ニ、今日ノモウ科學的ノ進歩ハ、優秀ナ技術者ヲ集メタ政府ノ機關デヤルコトガ必要デアラウト云フシタ譯デアリマス、デ殊ニ我國ノ蠶種業ガ今日ノヤウナコトガ必要デアラウト云フシタ譯デアリマス、是ハモウ今更ラ申上ゲルマデキアリマセヌ、從テ我ミトシテ販賣統制ニ

百種ト云フモノハ、果シテソレダケノ變化ガアルノデアルカ無イノデアルカ、同ジヤシテ、一面ニハ此絲ノ品質ノ齊一ガ得難ク、等ヲ生ズルコトモアリマスモノガ、相當ニ況デアルノデアリマス、政府トシマシテハ今日ノ斯ウ云フ育生學的大、學問的及實地的ナ仕事ハ、矢張リ極ク優秀ナ高級ナ技術者ヲ備ヘテヤル所ニ於テ、初メテ此非常ニ立派ナモノガ出來ルノデアリマシテ、是迄ノ色々育生ノ仕方トカ何トカ云フコトニ依ッテヤルト云フ以上ニ、今日ノモウ科學的ノ進歩ハ、優秀ナ技術者ヲ集メタ政府ノ機關デヤルコトガ必要デアラウト云フシタ譯デアリマス、是ハモウ今更ラ申上ゲルマデキアリマセヌ、從テ我ミトシテ販賣統制ニ

テモ之ガ改善ヲ圖リタイト云フ、製絲業ニ付テモ改善ヲ圖リタイト考ヘタノデアリマス、更ニ蠶種ノ統制ニ付キマシテモ、此法案ヲ出シタト云フヤウナ譯デアリマス、此政府ノ手ニ依ッテ出來マシタ所謂國蠶ノ原種ト云フモノハ非常ナ進歩ヲ實ハリマシテ、當業者ガ自己ノ優良品種デアルシテ出シテ居ルモノノ中ニモ、一面ニハ養蠶家ニモ色ミ不便ヤ誤解、違作致シテ居リマシテ、民間ノ當業者ガ自己ノ優良品種デアルシテ出シテ居ルモノノ中ニモ、一面ニハ養蠶家ニモ色ミ不便ヤ誤解、違作致シテ、一面ニハ此絲ノ品質ノ齊一ガ得難ク、等ヲ生ズルコトモアリマスモノガ、相當ニ況デアルノデアリマス、政府トシマシテハ今日ノ斯ウ云フ育生學的大、學問的及實地的ナ仕事ハ、矢張リ極ク優秀ナ高級ナ技術者ヲ備ヘテヤル所ニ於テ、初メテ此非常ニ立派ナモノガ出來ルノデアリマシテ、是迄ノ色々育生ノ仕方トカ何トカ云フコトニ依ッテヤルト云フ以上ニ、今日ノモウ科學的ノ進歩ハ、優秀ナ技術者ヲ集メタ政府ノ機關デヤルコトガ必要デアラウト云フシタ譯デアリマス、是ハモウ今更ラ申上ゲルマデキアリマセヌ、從テ我ミトシテ販賣統制ニ

ヤツテ居ル時へ出來ルカモ分ラナイト思ビ  
マスガ、今日ノ我國ノ蠶種業ノ情況カラ  
見マスルト、一部ノ當業者ノ生絲ノ販賣  
ガ非常ニ工合好ク行ツテ、ソレガドウニカ  
都合好ク行クト云フダケデハ、日本ノ生絲  
業ノ全體ガ満足サレマセヌノデ、矢張  
リ多少サウ云フ不便ガアリマシテモ、全體  
ガ寧ロ成ルベク早ク海外ノ需要情況、或ハ  
國內ニ於ケル生絲ノ需要ノ必要ニ應ズル  
コトノ出來ルヤウナ繭ヲ作ルト云フヤウ  
ナ方向ニ、全體トシテ今ノ事態ニ應ズル  
ヤウニ早く方法ヲ考究シテ、舵ヲ取ツテ行ク  
ヤウニナラナケレバナラヌ必要ニ迫ラレテ  
居ルヤウニ思ヒマス、サウ云ツタ機敏ニ應ズ  
ルト云フヤウナ事柄ニ付テハ、政府ノ原種  
製造所ニ於テモ、今日ノヤウナ、マダ一部  
ノ供給ヲシテ居ルト云フヤウナ責任デナク  
シテ、今度ハ全部ノサウ云フ問題ニ付テノ  
責任ヲ取ツテ、今日以上ノ決心ト覺悟トヲ以  
テ、出來ル限り機敏ニサウ云フ必要ニ應ズ  
ルヤウナ品種ヲ作ツテ行クト云フコトニ、努  
體ニ於テ此缺陷ヲモ補フニ足ルノデハナイ  
カト、斯ウ考ヘテ居リマス、ソレカラ尙ホ  
生絲ノ問題ハ海外ノ需要ニ掛ツテ居ルコト

ガ大キイ、色ミナ事情モアラウガ、生産ノ過剰ト云フヤウナコトガ今日ノ不況ヲ來シテ居ル原因デハナイカ、サウスルトドウシテモ生絲ノ需要ヲ一面ニ喚起スルヤウナコトヲ考ヘナケレバナラヌ、之ニ付テハ新企業ト新規販路ト云フヤウナ、生絲ノ需要ヲ更ニ新ニ開拓スルヤウナ事柄モ考ヘナケレバナラヌノデナイカ、之ニ付テ政府ハドウ云フコトヲ考ヘテ居ルカト云フヤウナ御尋ニアリマシタ、是ハ政府ニ於テ全ク御同感デアリマシテ、生絲ノ用途ヲ在來ノ用途ノ方向ニ生絲ヲ發達サシテ、其販路ヲ維持シテ行クト云フコトモ十分ヤラナケレバナラヌト思ヒマス、是ハ併シ生絲値段ニ關係ガ多イノデアリマシテ、從テ生絲ノ生産費ト云フコトニ關係ガ多クナツテ參リマス、値段ガ相當ニ安ク、而モ生産者側ガ相當ニ引合フト云フコトニナリマスレバ、生絲ガ現在ニ於ケル用途ノ販路ヲ維持スルト云フコトモ強チ困難デハナイト思ハレルノデアリマス、生産費ノ低下スルコトハ製絲業ノ關係、養蠶ノ關係ニ於テ十分ニ考慮サレナケレバナラヌノデアリマス、此原蠶種國家管理ヲ考ヘマシタノモ、一ツハサウ云フ意味カラ生産費ノ低下ニモ、是ガ全般的ニ考ヘルト役ニ立ツデアラウト、斯ウ考ヘタ譯出

アリマス、デ次ニ更ニ生絲ノ新シイ用途ト云  
フモノヲ考ヘナケレバナラヌ、動物纖維ト  
シテノ生絲ノ特色ヲ利用シテ、今迄生絲ヲ  
使ツテ居ラナイ、或ハ生絲ヲ使ハナイコト  
ハナイガ、ソレ程分量ヲ、其中ニハ生絲ヲ  
交ゼテ使ツテ居ナイト云フ所ニ、生絲ガ入ッテ  
行クハ詰リ羊毛ノ代リヲシ、綿絲ノ代リヲ  
シ、或ハ羊毛ト綿絲ニ交ゼテ使フ、其外生  
絲ヲ以テシナカツタ他ノ色ミナ製作品ノ方  
ニ生絲ガ入ッテ行クト云フヤウナコトガ、今  
後矢張リ色ミ考ヘラレル問題デアラウト思  
ヒマス、尙又サウ云フコトヲ考ヘマスルト  
云フト、今日ノヤウニ非常ニ優良ナ、海外  
輸出向ノ絲ヲ生産スルニ適スル繭ト云フ物  
ノミデ宜シイカ、或ハモウ少シ粗放ナ飼ヒ  
方ヲシテ、生産費ガ安クテ、漬シテ色ミナ物  
ニ使フニ手頃デ宜イト云フヤウナ蠶品種、  
養蠶ノ方法ヲ考究シテヤルコトモ必要デナ  
イカ、デ斯ウ云フ方面ニ相當ニ將來ニ希望  
ガ繫ゲヤシナイカト云フコトヲ、今日民  
間ノ人モ、政府ノ試験ヲヤツテ居ル者モ考  
ヘテ居ルヤウナ譯ズ、サウ云フ方向ニ  
併シ斯ウ云ツタヤウナコトヲスルニハ、  
トデアルガ、政府ノ仕事ト云フモノハ、ナ

シテ置イタ方ガ進歩スルノヂヤナイカ、是ハ民間ニ十分サウ云フヤウナ力ガアツテヤツテ参リマスレバ、無論進歩モ致スデアラウト思ヒマスガ、我國ノ蠶種業ノ状態カラ見マスト、ドウシテモ民間ニ於ケル色ミナ試験研究ト云フモト、更ニ政府ガ色々ニ考究的ニ色々試験ヲスルコトト相俟ッテ、互ニ力ヲ協セテ初メテ效果ヲ奏スルヤウニ思フノデアリマス、政府ト致シマシテハ今日滯貨生絲ノ處分方法ガ法律デ定ツテ居リマシテ、試験研究ニハ少量ヅツデアリマスケレドモシテ、試験研究ヲ進メマシタ結果、可ナリノ色ミナ成績ヲ擧ゲテ居ルヤウニ考ヘマス、サウ云ツタヤウナコトト政府ノ施設ト相俟チマシテ、生絲ノ生産費ノ低下ノ方面ニ、又新シイ用途ノ方面ニ色々ト研究ヲ進メタイ考デ居ル譯デアリマス、ソレカラ民間ノ當業者ガ造リ出シタ良イ品種ヲ、政府ノ手ニ收メテ、原原種トシテ一般ニ配付スル、民間ニ於ケル斯ウ云フ研究ヲモ阻害シナイ様ニスルト云フコトハ、此法律ノ定メテ居ル所デアリマスルガ、其實行方法トシテ審査會ヲ設ケテ、國家ノ原原種ニスペキモノヲ

決定シテ參リマス時ニ、委員ニハ役人及當業者ノ中カラ出タ人ヲ選ビマシテ、是ハ色ナ點カラ嚴正ナル、公平ナル審査ヲ致シト云フ積リデ居リマス、爾餘ノコトハ政府委員カラ御答ヲ致シマシテ、尙ホ重ネテ御質問ガアリマスレバ私御答ヘ致シマス○男爵岩村一木君 詳細御説明ヲ戴キマシテ、諒承イタシマシタ

トハ萬ナキコトト考ヘテ居リマス、第二點  
ハ民間ノ有スル優良品種ヲ、國ノ原原種ヲ  
配付シテ原種ヲ製造セシメル場合ニ、ソレ  
ト摺り換ヘルヤウナ心配ガナイカ、其取締  
ニ付テ嚴重ヲ缺ク場合ニ於テハ、原蠶種管  
理ヲ行ヒマシテモ其實效ヲ全ウスルコトガ  
出來ナイデハナイカト云フ御尋デゴザイマ  
スルガ、蠶種ニ關シマスル検査ト致シマシ  
テハ、現在ニ於キマシテモ蠶絲業法ニ嚴重  
ナル検査規定ガアルノデゴザイマシ  
テ、原蠶種及普通蠶種ニ付キマシテ、  
繭ノ検査ト母蛾ノ検査 卽チ蠶種ノ  
母トナリマスル蛾ニ付キマシテ検査ヲ  
致シマス、又繭ニナリマシタ場合ニソレヲ  
検査スル、其検査ヲ致シマスル爲ニハ全國  
各府縣ニ蠶業取締所ト云フモノガゴザイマ  
シテ、其處ニ常置更員ガ約千餘名居リマシ  
テ其検査ニ當ツテ居リマス、殊ニ今回ノ自家  
用原蠶種製造者ガ國カラ原原種ノ配付ヲ受  
ケテ原種ヲ作ルノアリマスガ、其自家用  
原蠶種製造者ト云フモノハ、先程申上ゲタ  
ヤウニ特別ノ設備ナリ、資格ヲ有ッテ居ル者  
ニ限ルノデゴザイマスカラ、殊ニ其監督モ  
一層徹底ヲ期シ得ルコトト考ヘテ居リマス  
ルカラ、從テ國カラ配付ヲシマシタ所ノ原  
種以外ノ原原種ヲ用ヒテ原種ヲ作ルト云

トニ付キマシテハ十分ナル監督ガ出来ルト  
確信ヲ有ツテ居ル次第アリマス、第三點ハ  
現在ノ蠶種製造者ニ對シテ何等カ補償ノ經  
費ガ此豫算ノ中ニ組ンデ居ルカドウカト云  
フ御尋デゴザイマスガ、是ハ五十萬圓ノ豫  
算ノ中ニハ組ンデ居リマセヌ、ト申シマス  
ノハ今日ノ蠶種製造業者ノ事業ヲ少シモ阻  
害スルノデハナイノデゴザイマシテ、今日  
マスガ、國カラ配付シマス原原種デ以テ原  
種ヲ作リマスコトハ、先程申上ゲマシタヤ  
ウニ約、全製造額ノ三割程度ノモノハ自家  
用原蠶種製造トシテ許ス積リデ居リマスカ  
ラ、其設備等モ其儘利用出來マスルシ、其  
以外ノ蠶種製造業者ハ普通蠶種製造業トシ  
マシテ、道府縣又ハ自家用蠶種製造業者カ  
ラ配付ヲ受ケマス所ノ普通ノ蠶種製造ノ原  
種ヲ以テ普通蠶種製造ガ出來ルノデアリマ  
スカラ、其設備自體ハ少シモ無駄ニナラナ  
イノデ、唯持ツテ居リマス原原種ダケガ今後  
ハ使ヘナイト云フコトニナリマスガ、ソレ  
ハ經費ト致シマシテハ極ク僅カノモノデ、  
而モ其中ノ優良ナル品種ハ、大臣ガ先程申

種審査會ノ議ヲ經テ買上ゲルト云フコトモ  
施行ニ依リマシテ、民間蠶種製造業者ニ對  
スル壓迫ト云フモノハ、經濟上ニ於テハ少  
シモナイコトト考ヘテ居リマスルガ故ニ、  
補償ノ制度ハ認メテ居リマセヌノデゴザイ  
マス、大體……

出來ル譯デハアリマセヌカラ、現在ダケデ  
モ甘ンジ得ル譯デアラウト思ヒマスガ、現  
在ノ状態デハ常ニ相場ノ變動ガアル爲ニ需  
要ガ減ジテ居ルヤウナ状態デアリマスガ、  
是ハ現在ノ組織デハ免レナイコトニナリマ  
ス、何故ナラバ横濱ノ相場ト紐育ノ需要地  
ノ相場トハ、常ニマア多クハ向フノ方ガ安  
ウゴザイマスカラ、此間ニアッテ商賣ヲシ  
テ居リマスル輸出商ハ、相場ノ綾デ以テ活  
キナケレバ、右カラ買ツテ左ニ賣ルト云フ  
コトニナリマスレバ、常ニ損失ニナッテ  
居リマスルカラ、所謂相場ノ下ゲデ取ラ  
ナケレバ、經營ガ立ツテ行カナイト云フ狀  
態ニアリマスルカラ、常ニ輸出商ノ爲ニ  
此暴騰暴落ト云フモノハ來スト云フヤウナ  
状態ニナツテ居リマスカラ、此邊ヲドウシテ  
モ改善シナケレバナリマセヌ、今日ハモウ一  
方ニ人造絹絲ト云フモノガ値段ヲ安定シテ、  
總テノ「サービス」モ最モ行届イテ居リマス  
ルカラシテ、生絲トシマシテハ、矢張り人  
造絹絲ニ倣ツテ値段ノ安定ト、ソレカラ廣告  
宣傳ニ努メテ、販賣法ニ全力ヲ注ガナケレ  
バナラヌ今日デアリマシテ、生産方面ヘ今  
日ノ所デハサウ必要ハナカラウト思ヒマス  
ル、ソレデ幾ラデモモウ餘裕ガアツタナラ  
バ、販賣方面ヘ全力ヲ注ガナケレバナラナ

会議事速記録第二號 昭和九年三月十日  
イ今日デアラウト思ヒマス、ソレデ一旦人  
造綿ニ侵蝕サレマシタ以上、ナカノ其  
恢復ハ容易ナラヌコトデゴザイマスルカ  
ラ、ドウカ此邊ニ付キマシテハ、政府デハ  
ドウ云フ御考ヲ有ツテ居ラレマスカ、御伺ヒ  
シタイト思ヒマス

絲價ノ不自然ナル騰落ヲ防止シ得ルノ策ニ付キマシテノ答申ガゴザリマシタノデ、之ニ基キマシテ政府ハ目下成案ヲ急イデ居リマンテ、出來得レバ今議會ニ提出シテ御協贊ヲ仰ギタイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第アリマス

況ガドウナリマス、是カラ先キノ繭ノ狀  
ゲルコトハチヨツト輕率デアルカモ知レマ  
セヌガ、相當ニ對シテ政府トシテハ注意  
ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、ソレニ對ス  
ル處置トシテサウ云フヤウナ方法ヲ執ツテ  
行カネバナラナイデアラウト豫想シテ居ル  
譯デアリマス生繭ノ取引ハ……是ハ申スマ  
デモナク養蠶家ト致シマシテモ、製絲家ト  
致シマシテモ、出來ルダケ乾繭サレテ取引  
サレルコトガ希望ナノデ、政府トシテハ漸  
次生繭ノ取引ハ乾繭取引ニ變ツテ行キタイ  
ト思ツテ居ルノデアリマス、是モ相當  
経費ヲ要スルコトデ、一度ニ全部ヲド  
ウスルト云フコトモナカ／＼困難カモ知レ  
マセヌガ、漸次財政ノ許ス範圍ニ於テサウ  
云フ風ニ進ンデ行キタイト思ヒマス、詳細  
ノ點ハ局長カラ御話申上ゲマス

テ、其中デ特約取引ニ依リマスモノ、即チ  
製絲家ト養蠶者トノ間ノ特別ノ約束ニ依ツ  
テ取引キシマスモノガ四割ヲ占メテ居リマ  
シテ、其他ガ仲買人若クハ繭市場ヲ通ジテ  
賣ラレルト云フ事情ニゴザイマスルノヲ、出  
來得ル限リ乾繭取引ニシロト云フノガ、此  
附帶決議ノ要望スル所グラウト考ヘテ居ル  
ノデアリマス、唯、只今御話ノ本年度ノ共  
同乾繭保管助成ト云フモノハ、是ハ固ヨリ  
乾繭取引ノ改善ニ資スル所ハナイデモナイン  
ノデゴザイマスルガ、其趣旨トシマスル所  
ハ乾繭取引ニ資シマス爲ノ施設デハゴザイ  
マセヌ、是ハ本年ノ春繭方昨年來ノ持越繭  
ノ過剰ニ依ツテ非常ニ壓迫ヲ受ケ、絲價ト繭  
價トノ權衡ガ取レナクナル場合ニ於テ、國  
家トシテ之ニ對シマスル一ツノ應急施設ト  
シテ之ヲ實施スルノデゴザイマシテ、從テ  
繭價ガ相當ニ暴落ヲシマシタ場合ニ、初メ  
テ此制度ガ實施サレルト云フ實情デゴザイ  
マシテ、其内容ヲ申上ゲマスルト、昭和九  
年度ノ本豫算ニ於キマシテ、百五萬圓ノ經  
費ガ計上シテゴザイマス、是ハ約七百萬貫  
ノ繭ヲ共同保管セシムル爲ノ計畫デゴザイ  
計上シテアルノデゴザイマスガ、是ハ普通  
マシテ、是ハ昨年モ同ジ計畫ニ依リマシテ、

生繭ノ殺到ヲ防止シテ、繭價ノ低落ヲ阻止スルト云フ政策デゴザイマスルガ故ニ、本年モ豫メ春繭ニ備ヘマスル爲ニ此經費ヲ組額ガ非常ニ多ク、且ツ亞米利加ニ於キマスル所ノ生絲ノ消費ノ減退ニ依リマシテ、彼此レ私共ノ見テ居リマスルノハ、本年ノ端境期ニ於キマシテハ八百萬貫ノ繭ガ持越サレルヤウニナルノデハナイカト云フ所カラ、先程申上ガマシタ七百萬貫ト、八百萬貫ヲ加ヘマシタ千五百萬貫ヲ共同保管スルガ爲ニ、今度ノ追加豫算ニ於キマシテハ八百萬貫ニ對スル經費約百六十萬圓ヲ追加計上イタシマシタヤウナ次第デゴザイマシテ、此本豫算ト追加豫算トノ兩經費ヲ以テ、千五百萬貫ノ繭ヲ共同保管シテ行クト云フコトニ依リマシテ、春繭ノ對策ニ、當面ノ問題トシテハ當テ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、又生繭取引ノ禁止ニ付キマシテハ、是ハナカ／＼困難ナ問題デゴザイマシテ、政府トシマシテモ、先程政務次官ノ御話ニアリマシタ通り、製絲家ノ立場カラ見マシテモ、或程度ノ乾繭取引ニ之ヲ導イテ行クト云フコトハ、是ハ固ヨリ其必要ヲ認メテ居ルノデゴモ、春蠶家ノ立場カラ見マシテモ、或程度

ザイマス、併シ乾繭装置ナリ乾繭倉庫ノ設備ガ完成イタシマセヌト、是ハ實行ハ期シ難イノデゴザイマシテ、現在ノ實情ハ先程申上ゲマシタヤウニ、產繭ノ約一割程度ノ設備シカナイノデゴザイマスカラ、此狀態ヲ以テシテ俄ニ生繭取引ヲ禁止スルト云フコトハ、却テ養蠶家ノ爲ニ取ラザル所デアラウト考ヘテ居リマスノデ、乾繭取引普及ノ趣旨ハ政府モ之ニ贊成シテ居ルノデアリマシテ、其爲ニ年々乾繭装置ナリ乾繭倉庫ノ設備助成ノ經費ヲ計上シテ居ルヤウナ次第デゴザイマスカラ、是等ノ實行ト俟チマシテ、早キ機會ニ於テ乾繭取引ノ漸次普及ヲ圖シテ行クト云フコトニ付キマシテハ、政府トシテモ極力努メテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマスガ故ニ、今後此產繭處理ニ付キマシテモ、政府トシテモ十分色ミノ研究ヲ重ネテ、民間當業者ノ要望ニ副ツテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソレデ由來生考ニ申上ガタイト思ヒマス、ソレデ由來生繭デ賣買スルカラ、養蠶家ハ常ニ値段ヲ壓スカラシテ、一應私ハ當業者トシマシテ御參迫サレハセヌカト云フ風ニ、一般カラモ見

ラレテ居リマスルガ、今日マデ製絲家ノ成  
功シタト云フモノハ、今日マデ殆ド無イ、  
失敗ニ終ツテ居ルト云フ現状デアリマスル  
ガ、是ハ畢竟何デアルカト言ヘバ、絲ノ  
賣レル以上ニ繭ヲ高ク買ツテ居ルト云フ  
結果ニ外ナラヌノデ、今日マデ製絲家ガ繭  
ヲ相當ニ、生絲ノ賣レルダケノ範圍内ニ於テ  
買ツタモノナラニバ、何モサウ生絲屋ガ自分  
ノ資產ハ申スニ及バズ、問屋、銀行マデモ  
借リラレルダケ借リテ、今日ハマア手モ足  
モ出ナイト云フヤウナ現狀ニ、殆ド全般ガ  
ナツテ居ルト云フモノハドウデアルカト言  
ヘバ、生絲ノ賣レル以上ニ繭ヲ高ク買ツテ居  
ルト云フニ外ナラヌ、マア今日マデ生繭賣  
買デアッテモ、繭ヲ割合ニ廉ク買ツタ、ドウト  
カ云フノハ、結果ヲ見テモ明カナ話デ、ソ  
レデ從來乾繭取引ヲ御獎勵ニナツテ、政府デ  
乾繭ノ貯藏ラシ、乾繭ヲ御獎勵ニナツテ居リ  
マスルガ、實際ノ狀態ハドウデアルカト言  
ヘバ、殆ド養蠶家ガ乾繭シテ貯藏スルモノ  
ハ殆ド無ク、其實製絲屋ガ繭ヲ買ツテカラシ  
テ、補助ガアルト云フカラシテ普通養蠶  
家ノ名ヲ借リテ乾繭補助ヲ取ツテ居ルダケ  
ノモノデ、今日マデ何デセウ、殆ド養蠶家  
自身デ乾繭ノ獎勵費ヲ取ツタト云フモノハ、

全國中ニ幾ラモナイデセウ、役人ハドウ云  
ニ於テハサウ云フモノデゴザイマス、ソレ  
デ此乾燥ト云フモノニ付テハ、一番製絲經  
營上ノ大切ナ仕事デアツテ、此乾燥ヲシマス  
ルモ、最近ハ兎ニ角機械ガ完全ニナツテ居リ  
マスルケレドモ、乾カシ過ギテハ解舒ガ惡  
クナツテ絲量ニ影響スル、幾分デモ生マデアレ  
バ黒ビルト云フコトデ、實ニ間一髮ト云フ  
所デ、黒ビナイヤウニ又乾カシ過ギナイヤウ  
ニト云フ、非常ニソコニ親切ナ心持テ乾燥  
ニ從事スル者カ居リマセヌケレバ、三「パー  
セント」ヤ五「パーセント」ハ無クシテモ  
シマヒマスルシ、又全ウスルコトモ出來ル、  
實ニ此乾燥ト云フモノハ容易ナラヌモノデ  
アル、斯ウ云フ實ニムツカシイモノヲ御役  
目的ニ、單ニ乾燥サヘスレバ宜イトシマス  
レバ、少クモ經費ト共ニ五「パーセント」位  
ハ無クシテシマウコトニナリハシナイカト  
思フノデアリマス、デソレダケ、全國中デ  
キナ金ニナル譯デアル、此邊ヲ能ク御研究  
ニナラナケレバ、今日ハ一般ノ製絲屋ハド  
ウデアルカト言ヘバ、資金ガ無クナツテ繭ヲ  
一時ニ買フコトガ出來ナイカラ、何時デモ  
買ヘルヤウニト云フノ考ヘカラシテ、一般

ニ乾繭ヲ希望シテ居リマス、乾繭ニナリマ  
スマスルカラ、サウ云フ傾向ニハナッテ居リマ  
スルガ、實際ニ於キマシテハ乾燥ノ爲ニ損  
價ヲ安定シマスレバモウ萬事ハ解決スルモ  
御研究ヲ願ヒタウゴザイマス、尙ホ私ハ市  
ノデアッテ、養蠶家モ亦製絲屋モ、輸出商モ、  
機屋モ、亦其織物ヲ扱フ「デパート」デモ、  
皆宜シイコトニナリマスルカラシテ、ドウ  
シテモ此市價ノ安定ト云フコトニ全力ヲ注  
イデヤルコトデナクチヤナラヌト思フ、一  
應御参考ノ爲ニ……。

マスト相當ニ、養蠶家ノ物ガ大部分ヲ占メテ居ルヤウナ實態デゴザイマシテ、是等モ亦年ニ依リマシテ違フコトモアルト思ヒマスガ、實情ハ其時ミニ依リマシテ色ニ變化ラシテ居リマスデゴザイマスルカラ、大部分分ガ製絲家ノモノデアルト云フヤウナコトハナカラウト考ヘテ居リマス○武井覺太郎君 ソレハ其何デセウ、商人ノ手ニ移ッテ、商人ガ買置キノモノモアリマセウガ、養蠶家ガ組合デ特ッテ居ルトカ云フヤウナモノハ極メテ僅少ナモノデ、今マデ養蠶家ガ何デスナ、乾繭取引ヲ御獎勵ニナツテ、乾繭シテ儲カツタコトハ滅多ニナイ譯デセウカラ、養蠶家ハモウ殆ド乾繭ニスルト云フ思惑師又ハ……

（此時長野忠次君發言ノ許可ヲ求ム）

○委員長（侯爵大隈信常君）長野君何カ……

○長野忠次君 非常ニ大切ナ問題デハアリマスケレドモ、多少ノ慣例モアリマスルケレドモ、詰リ時間ノ必要上カラシテ、問題ニ直接觸レテ居ナイコトノ論及ハ、餘り長ク時間ヲ費サナイ方ガ宜クハナイカト思ヒマス、乾繭ト云フコトデアッタラ、私ハ私トシテ別ニ意見ヲ述べタイト思ヒマスケレドモ、此處デハ省略イタシマス、若シ武井

委員ニ御差支ナカツタラ、乾繭問題ニ對スル、  
ナ質問ニ移リタイト思ヒマス、御許シヲ御  
願ヒシタク、若シソレデ決定イタシマスレ  
バ、私ハ極ク些細ナ問題ニ付テチヨット御  
尋ネシタイト思ヒマス



昭和九年三月十日印刷

昭和九年三月十一日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局